

ウクライナ戦争。毎日情報更新。午前10時 2022年3月27-28日

**外交政策** 米国、バイデン大統領が先週金曜日にポーランドを訪問し、アメリカ軍人、ウクライナ人難民、ウクライナ外務大臣とウクライナ防衛大臣と面談した。「今ウクライナで起こっていることが21世紀をきつと変える」とスピーチした。米国が新たな制裁を発表したけれども、制裁とともに、ウクライナ側が軍事支援の必要性を主張し続けている。

**攻撃を受けている都市** ウクライナ防衛省によれば、土曜日にロシア軍はキエフ市から押し返されました。しかしながら、砲撃は続いています。ロシア軍はスラヴィティチ市に侵攻し、町の病院を押収しました。平和な集会に出た民間人に手榴弾を投げました。週末、ロシア軍は石油とガス精製所を攻撃しました。リヴィウ市、ロシア軍はウクライナ石油とガス精製所を巡航ミサイルで攻撃した。巡航ミサイルはセバストポリ市から発射されました。[州危機管理局](#)は火事を消すに16時間かかりました。ロシア防衛省はリヴィウ市の砲撃を認めました。リヴィウ市の砲撃はバイデン大統領が国境に近いポーランドの町でウクライナ難民の前でスピーチした時に行われました。リウネ州のドゥブノ市の石油精製所も砲撃を受けました。日曜日、ルーツク市では同じような砲撃がありました。ベラルーシから発射されたミサイルでルーツク市の石油精製所が砲撃されました。日曜日の晩、ほぼ同じ時間にルーツク、キエフ、リヴネ、ハリコフとジトーミルで強い爆発が起きました。チェルニーヒウ市の地方公共団体によれば、多数の町の家や民間施設は破壊されています。ハリコフ州のイジューム市では激しい戦いが続いています。ドネツク州のアウディーイウカの近くでまた[禁止された白リン弾](#)が使用されました。

**マリウポリ市** マリウポリ市役所は、ロシアの占領者が、第一私立病院の医師と患者だけではなく、病院の地下で砲撃のため隠れていたおよそ700人の市民を強制移動させたと報告した。そうした中で、マリウポリ市長から、54万人の市民のうち、50%の市民が退避した(その中6万人がウクライナ政府の「グリーン回廊」を通じて避難)と[連絡があった](#)。2万人から3万人ぐらいの市民がロシアへ強制的に移動させられた。都市のインフラの90%が完全に破壊された、またはダメージを受けた。ロシア軍の標的になる可能性が高いため、月曜日、3月28日は退避用の人道回廊が調整されなかった。

**都市の解放** ウクライナ軍のおかげでトロスチャネツ(スミィ州)は一時的に占領されていたけれども、解放された。ザポリヅジャ州では、現地防衛部隊によって、ポルタヴカ村とマルニヴカ村が戦略者から解放された。

**誘拐事件及び強制移動** メリトポリ市では、ロシア軍がそれぞれのマンションの担当者を集めて、担当者に「ファシストが住んでいるアパート」について報告するように言った。すなわち、ロシア軍に反対している、ウクライナ政府を支援しようとしているすべての住民が対象者になる。「Euromaidan SOS」[人権保護グループによれば](#)、戦争が始まってから、少なくとも36人が誘拐事件の標的になったり、行方不明になったりした。活動家や占領者への反対運動家が攻撃を受け続けている中、上記のグループが解放の支援を求める。

**ヴェレシチュク・イルナ**、一時的占領地域大臣は、ロシアの占領者が現在占領されているヘルソン市から、アルメニア、アゼルバイジャン、メスヘティア・トルコ民族の市民を一時的に占領されているクリミア半島に強制移動させる予定であることを[発表した](#)。

**エネルギー安全保障** 欧州原子核研究機構 (CERN) がベラルーシとロシアに位置づける科学専門委員会への科学者の参加、予定のあったイベント、新たな契約を[中止した](#)。

**メディア** ロシアによるウクライナ侵略が始まって以来、12人のジャーナリストが殺され、10人のジャーナリストが傷つけられたと検事総長のヴェネジクトヴァ・イルナが[発表した](#)。ロシアがウクライナのメディアに対して148件の犯罪を犯した。一時的な占領、占領者の犯罪行為により、70以上のメディアが活動停止した。誘拐と拷問事件を6つ確認することができた。

**文化** ウクライナの美術館、文化機関やボランティアボランティアが[どのように](#)文化遺産であるアート、像、を保護のため移動しようとしているかご覧ください。

**ウクライナ・ロシア協議** 次の協議ラウンドが3月29日トルコで行われる予定。ウクライナ側の主張ポイントは変更なし。安全保護、領土保全、国家主権である。

総計情報

- ウクライナ軍参謀本部は、2022年3月28日午前6時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました：人員約17,000人、戦車586台、APV1,694台、砲兵システム302台、MLRS95台、対空・航空機戦

闘システム54台、固定翼航空機123台、ヘリコプター127台、軽装甲車1,150台、軽装甲車7台、燃料タンカー73台、運用戦術レベルUAV66台、特殊装備21台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- ウクライナのメディアによるソーシャルメディアや、このサイトに広めることによって、ウクライナの状況に関する最新情報を共有してください。
- [Twitter](#)と[Webサイト](#)で毎日アップデートを読んでください。
- PayPal経由の寄付で私たちのプロジェクトをサポートすることができます。[詳細](#)はこちらです。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます。Slava Ukraini! ウクライナに栄光あれ！